

ミッション：広島をレポートせよ～酒のまち 西条にせまる！～

東広島市原小学校 教諭 京谷志穂

1 学年 第4学年

2 単元設定の理由

- 小学校学習指導要領第4学年の内容(6)ウでは、広島県内の特色ある地域の人々の生活について、資料を活用したり白地図にまとめたりして調べ、広島県の特色を考えるようにすることがねらいとされている。本単元は、この内容(6)ウを基に設定した。

本単元「酒のまち 西条にせまる！」では、広島県を紹介する上で欠かせない地場産業である東広島市西条の酒造りについて調べる学習を中心に構成した。西条で酒造りが盛んなわけを、「気候」「原料・材料」「交通」「人々の工夫や努力」から考え、説明できるようにすることをねらいとしている。これは、小学校第3学年及び第4学年の能力の目標である「地域社会の社会的事象の特色や相互の関連などについて考える力」を身に付けさせるのに適した単元といえる。

- 本学級の児童は、地域の社会的事象に興味をもち、積極的に調査したり聞いたりしたことを授業の中で発表する児童が多い。しかし、その知識は個別的であり、地域の他の社会的事象に関連させて、地域の特色をとらえたり、これまでに習得した概念等を用いて地域の社会的事象の原因と結果を明確に説明したりできる児童は少ない。
- そこで、次の手だてをもって指導を行う。
- ・知識の構造化と問いの構造化を図り、「習得・活用・探究」の学習過程を明確にしていくことで、原因と結果を説明できるようにする。
 - ・広島県を紹介する「レポート」を書くという活動目標をつくり、目的意識をもたせる。
 - ・パンフレット、パワーポイント、DVDを効果的に使い、児童自身が資料から考えられるように工夫する。
 - ・「気候」「原料・材料」「交通」「人々の工夫や努力」の見方や考え方を定着させるため、掲示内容や提示方法を工夫する。
 - ・考えたことを論理的に説明できるようにするため、ノートの使い方や説明の書き方の指導も行う。

3 単元の目的

「地場産業は地理的条件及び人的条件によって発展している。」という概念的知識を習得する過程で、特色や相互の関連などについて考える力を身に付けさせる。

4 単元の到達目標

- ① 西条の酒造りの学習を通して、概念的知識1「地場産業は地理的条件によってその地に根付いてきた。」を習得することができる。
- ② 西条の酒造りの学習を通して、概念的知識2「地場産業は人的条件によって今日まで栄えている。」を習得することができる。
- ③ ①・②を通して、習得した概念的知識を使って、地域の他の地場産業について説明することができる。

5 単元の評価規準

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な思考・判断	観察・資料活用の 技能・表現	社会的事象への 知識・理解
○酒造りや,それに携わる人々に関心をもち,意欲的に調べ,考えながら追究しようとしている。	○資料などから,西条の酒造りについて問題意識をもち,仮説を立てて追究し,酒造りが盛んになった理由について考えている。 ○地場産業が盛んになった理由を,調べたことを関連付けながら考えている。	○酒造りについて,資料やD V D などから課題に沿って調べている。 ○調べた過程や結果をノートに整理して分かりやすく表現している。	○西条で酒造りが盛んになった理由を「気候」「原料・材料」「交通」「人々の工夫や努力」からとらえている。

6 単元計画(全8時間)

類型	時数	学習活動	主な評価項目				評価規準	評価方法
			関	思	技	知		
習得	1	・東広島の地場産業である西条の酒について知る。	◎				・西条の酒造りに興味・関心をもち,意欲的に調べようとしている。	ノート 行動観察
	2	・D V D を見て,西条の日本酒の造り方をまとめる。			◎		・酒造りのD V D を見て製造過程を知り,ノートに整理してまとめている。	ノート
活用①	3	・なぜ,西条で酒造りが盛んなのか仮説をたてる。		◎			・西条の酒造りについて問題意識をもち,盛んになった理由の仮説を立てている。	ノート 行動観察
探究	4	・原料と気候が酒造りに適していることを資料から探り,説明する。		◎			・酒造りが盛んになった理由を原料と気候の面から考え,説明している。	ノート 発表
	5	・交通の発展から酒造りが根付いた理由を探り,説明する。		◎			・酒造りが盛んになった理由を交通の面から考え,説明している。	ノート 発表
	6	・人々の工夫や努力から酒造りが栄えた理由を探り,説明する。		◎			・酒造りが盛んになった理由を人々の工夫や努力の面から考え,説明している。	ノート 発表
	7	・西条で酒造りが盛んになった理由を説明する。				◎	・西条で酒造りが盛んになった理由を「気候」「原料・材料」「交通」「人々の工夫や努力」からとらえている。	ノート 発表
活用②	8	・岡山県備前市で備前焼が盛んになった理由を考え,説明する。		◎			・岡山県備前市で備前焼が盛んになった理由を,資料を関連付けながら説明している。	ワークシート

7 学習展開

【1時間目】「習得」

本時の目標 西条の酒造りは東広島の地場産業であることを知り，関心をもつ。

過程	教師による発問・指示	学習活動	資料	児童の反応（習得させたい知識） ★評価規準（方法）
導入	○全国の地場産業や伝統工芸で知っていることはありますか。 ○広島県の地場産業は何でしょう。 ○西条にも全国に誇る地場産業があります。これから「酒のまち西条にせまる！」学習をしてレポートしましょう。	T：発問する T：資料提示 P：答える T：発問する P：答える	・伝統工芸を記した地図と実物 ・「BUYひろしま」	・地場産業と伝統工芸の意味が分かったぞ。 ・広島にもたくさんの地場産業があるんだ。西条の酒造りも地場産業だ。
展開	西条の酒について情報を集めよう！ ○パンフレットの中から，西条の酒造りについて分かることを探しましょう。 ○知っていたことや見つけた情報を発表しましょう。 ・兵庫の灘，京都の伏見，広島西条といわれ，日本3大名醸地の一つ。 ・1か所に八つの会社が集まっているのはめずらしい。 ・リーダーの杜氏と蔵人によって造られる。 ・県外も合わせて24万人の観光客が酒まつりに来た。			
終結	○西条の酒について集めた情報をノートに整理しましょう。 ○次の時間は酒の造り方を調べましょう。	T：発問する P：活動する T：次時の予告		・お酒はどうやって造るのだろう。

【2時間目】「習得」

本時の目標 酒の造り方を「原料」「順番」「杜氏や蔵人の仕事」からとらえる。

過程	教師による発問・指示	学習活動	資料	児童の反応（習得させたい知識） ★評価規準（方法）
導入	○酒はどうやって造るのでしょうか。	T:発問する P:予想する		・水が使われているので水に何か混ぜるのかな。 ・調べてきました。
展開	日本酒のつくり方を知ろう。			
	○DVDで酒の造り方を次のことに注意して見ましょう。 ・必要な原料は何か ・造られる手順 ・杜氏や蔵人の仕事	T:指示する P:メモを取りながら見る	・酒造りが収められているDVD ・観点を書いたカード	・米や水を使っている。 ・たくさんの工程があるな。 ・温度調節は杜氏の技なんだ。 ★酒造りのDVDを見て製造過程を知り、ノートに整理してまとめている。（ノート）
展開	○どのような作業があったでしょう。造る順番に発表しましょう。 ・各工程に費やす時間 ・「もろみづくり」の工程で仕込み水が必要である。 ・味をよくするために様々な工夫がある。 ・杜氏の長年の勘が必要である。	T:発問する P:発表する	・掲示用写真カード	・おいしくするために様々な工夫があるよ。 ・見逃したところが友達の意見で分かったぞ。 ・仕込み水は大切な役割を果たしている。 ・あの様にまとめると分かりやすいな。
終結	○写真と言葉を使って、三つの観点を必ず入れて、ノートにまとめましょう。	T:指示する P:活動する	・まとめる時に貼る写真資料	・矢印で図をつくっていこう。 ・ポイントも書いておこう。

【3時間目】「活用①」

本時の目標 西条で酒造りが盛んなわけを前時に習得したことから考える。

過程	教師による発問・指示	学習活動	資料	児童の反応（習得させたい知識） ★評価規準（方法）
導入	○西条の酒造りについてどんなことがわかりましたか。	T:発問する P:答える	・授業の流れの分かる掲示物	・ノートを参考に発表し、整理しよう。

展 開	なぜ、西条の酒づくりはさかんになったのかよそくしよう。			
	○なぜ、西条では酒造りがさかんなのか、予測したこと二つ以上書きましょう。 ○グループで交流してまとめていきましょう。 ○話し合ったことを出して、みんなで理由を考えましょう。 ・おいし米や水がとれるからおいしい酒ができるのではないか。 ・気候があっているからではないか。 ・多くの人々が来たからではないか。 ・人々の工夫や努力があったからではないか。	T:指示する P:活動する T:指示する P:活動する(グループ) T:発問する P:話し合う T:集約する		・水や米が関係しているのかな。 ・杜氏や蔵人さんたちが工夫してがんばっているからだよ。 ・全国へ広めたからだろう。 ・おいしいからだ。 ・多くの人々が西条に来て、お酒を買ったからだろう。 ・本当においしい水や米があるのかな。 ・酒祭りでたくさんの人々が来ているよ。 ・酒を造る時いろいろ工夫していたよ。 ★西条の酒造りについて問題意識をもち、盛んになった理由の仮説を立てている。(ノート・行動観察)
終 結	○考えた理由をノートに整理しましょう。 ○次の時間から、四つの仮説が本当かどうか調べていきましょう。	T:指示する P:活動する T:次時の予告		

【4時間目】「探究」

本時の目標 酒造りに適した原料と気候であるから盛んになったことを資料と関連付けながらとらえる。

過程	教師による発問・指示	学習活動	資料	児童の反応(習得させたい知識) ★評価規準(方法)
導 入	○みんなで考えた仮説は何でしたか。 ○今日は、第1の仮説について調べていきましょう。	T:発問する P:答える	・授業の流れの分かる揭示物	・おいしい水と米でおいしい酒がつくれたから。 ・気候が合っているから。 ・多くのひとが来たから。 ・人々の工夫や努力があったから。

展 開	なぜ、西条の酒はおいしいといえるのでしょうか。			
	○なぜ西条駅前に酒蔵が集まっているのでしょうか。 ・西条駅前と龍王山の位置を確認する。	T:発問する P:答える	・地図	・龍王山からおいしい水が流れているのだろう。
	○これが酒造りに使われている仕込み水です。 ・中硬水が酒造りにあっていること。 ・水を飲み比べてみましょう。 ・発酵しやすくいつまでもおいしい。	T:発問する P:活動する T:説明を加える	・中硬水と軟水と硬水	・売っている水くらいおいしい。 ・おいしくなる中硬水があるから駅前に酒蔵があるのか。
	○これが酒米です。これについて調べた人はいますか。 ・酒米の性質 ・千本錦はうまさと香りを引き出す。	T:発問する P:答える T:説明を加える	・写真	・食べる米とはちがう米が使われているんだ。 ・千本錦がつくられたからおいしいのか。
	○広島市と東広島市の気温のグラフです。分かることはありませんか。 ○寒冷な気候が酒のまろやかな味を引き出します。 ○なぜ、西条の酒はおいしいといえるのでしょうか。	T:発問する P:答える T:説明を加える T:発問する P:答える	・グラフ	・東広島の気温が低いな。 ・東広島は高原盆地だったね。 ・酒造りにあった水と米があり、しかも気候も適しているからだ。 ★酒造りが盛んになった理由を原料と気候の面から考え、説明している。(ノート・発表)
終 結	○なぜ、西条の酒はおいしいといえるのかノートに整理しましょう。	T:指示する P:活動する		

【5時間目】「探究」

本時の目標 西条は宿場町として栄え、鉄道も開通したことから広まっていったことをとらえる。

過程	教師による発問・指示	学習活動	資料	児童の反応(習得させたい知識) ★評価規準(方法)
導 入	○今日調べる仮説は何でしょう。	T:発問する P:答える	・授業の流れの分かる掲示物	・多くの人が来たから。
展 開	なぜ、西条の酒は広まっていったのでしょうか。			

展 開	○なぜ、全国に広まったのか予測してみましょう。	T:発問する P:答える		・みんなが来ることができたのだろう。
	○この地図と歴史の年表からわかることをグループで話し合ひましょう。	T:発問する T:資料配布 P:活動する(グループ)	・西国街道の地図 ・御茶屋の写真 ・西条の年表	・道があったのかな。 ・昔から人の行き来があった。 ・宿場町だったのか。 ・江戸時代から続いているよ。 ・鉄道ができています。 ・大名も泊まる大きな宿場町だった。
	○なぜ、西条の酒は広まっていたのでしょうか。わかったことを発表しましょう。 ・時間がたっても品質が変わらないから遠いところまで運ぶことができた。	T:発問する P:答える T:資料掲示 T:説明を加える	・西国街道の地図 ・御茶屋の写真 ・西条の年表	・人が集まるから酒を飲むことも多かった。 ・鉄道の開通と、日清戦争で人の行き来が多くなった。
	○現在はどうでしょう。	T:発問する P:答える		・新幹線や高速道路ができています ★酒造りが盛んになった理由を交通の面から考え、説明している。(ノート・発表)
終 結	○なぜ、西条の酒は広まったのかノートに整理しましょう。	T:指示する P:活動する		

【6時間目】「探究」

本時の目標 先人の努力や杜氏らの願い・思いを知り、酒造りが続いてきた理由をとらえる。

過程	教師による発問・指示	学習活動	資料	児童の反応(習得させたい知識) ★評価規準(方法)
導 入	○今日調べる仮説は何でしょう。	T:発問する P:答える	・授業の流れの分かる掲示物	・人々の工夫や努力があったから。
展 開	なぜ、西条の酒は続いていたのでしょうか。			
	○「人々の工夫や努力」とは、どんなことが考えられますか。	T:発問する P:答える		・機械を生み出してきた。 ・おいしく造るため工夫した。
	○三浦仙三郎は大きく貢献しました。	T:説明を加える	・写真 ・資料	・軟水醸造法を生み出したのか。

展 開	・軟水醸造法とはどのような方法か調べましょう。 ○精米機の発明も関係あります。 ○現在の杜氏の願いは何でしょう。また、これからも続けていくためにどのような努力をしているでしょう。	T:発問する P:答える T:説明を加える T:発問する P:見る P:答える	・インタビューのDVD	・温度計を使う。酒蔵を清潔にする。低温でゆっくり発酵する。 ・味が変わらず、くさらない方法だ。 ・いろいろな人が支えてきた。 ・温度調節など苦心しているのだなあ。 ・伝統を守っていくために努力している。 ・様々な種類の酒を造る。 ・酒まつりを大切にしていこう。 ★酒造りが盛んになった理由を人々の工夫や努力の面から考え、説明している。(ノート・発表)
	○なぜ、西条の酒は今まで続いているのかノートに整理しましょう。	T:指示する P:活動する		

【7時間目】「探究」

本時の目標 原料・気候・交通及び人々の工夫と努力の点から、西条で酒造りが盛んな理由をまとめる。

過程	教師による発問・指示	学習活動	資料	児童の反応(習得させたい知識) ★評価規準(方法)
導入	○これまで探ってきたことを振り返りましょう。	T:発問する P:答える	・授業の流れの分かる掲示物	・原料・気候・交通・人々の工夫や努力から考えたな。
展 開	なぜ、西条の酒造りは盛んになったのだろう。			
	○ノートに「なぜ、西条の酒造りは盛んになったのか」をレポートしましょう。 ○発表しましょう。 ・どの項目が入っているか確認しよう。	T:指示する P:活動する T:指示する P:発表する		・まとめて書くとどうなるかな。 ・抜けているところはないかな。付け足しておこう。 ・四つの項目で見ていくと栄えた理由が説明できるぞ。

展 開				★西条で酒造りが盛んになった理由を「気候」「原料・材料」「交通」「人々の工夫や努力」からとらえている。(ノート・発表)
終 結	○なぜ, 西条の酒造りは盛んになったのかノートに整理しましょう。	T:指示する P:活動する		

【8時間目】「活用②」

本時の目標 地理的条件と人的条件から, 備前焼が栄えた理由を考える。

過 程	教師による発問・指示	学習活動	資料	児童の反応(習得させたい知識) ★評価規準(方法)
導 入	○前時にまとめたことを発表しましょう。	T:発問する P:答える	・授業の流れの分かる掲示物	・原料・気候・交通・人々の工夫や努力からレポートしたよ。
展 開	なぜ, 備前市で備前焼が盛んになったのだろう。 ○最初に考えた問題をもう一度考えてみましょう。 ○なぜ, 備前市で備前焼が盛んになったのでしょうか。			
		T:指示する P:活動する T:発問する P:発表する T:説明を加える	・写真	・西条の酒造りと同じように四つの項目で見えていこう。 ・よい土がとれる。 ・晴れの日が多い。 ・交通の便がよい。 ・造る時の工夫がある。また, まつりなども行って広めている。 ★岡山県備前市で備前焼が盛んになった理由を, 資料を関連付けながら説明している。(ワークシート)
終 結	○熊野の筆や福山の琴などと同じ見方ができそうですね。	T:まとめる		